

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成16年8月12日(2004.8.12)

【公表番号】特表2000-502385(P2000-502385A)

【公表日】平成12年2月29日(2000.2.29)

【出願番号】特願平9-523603

【国際特許分類第7版】

C 0 9 J 201/00

A 6 1 K 9/70

A 6 1 L 15/58

C 0 9 J 7/02

C 0 9 J 107/00

C 0 9 J 121/00

C 0 9 J 129/10

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 153/02

C 0 9 J 175/04

C 0 9 J 183/00

【F I】

C 0 9 J 201/00

A 6 1 K 9/70 3 3 1

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 107/00

C 0 9 J 121/00

C 0 9 J 129/10

C 0 9 J 133/00

C 0 9 J 153/02

C 0 9 J 175/04

C 0 9 J 183/00

A 6 1 L 15/06

【手続補正書】

【提出日】平成15年5月27日(2003.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成15年 5月27日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成09年特許願第523603号

2. 補正をする者

氏名（名称） ミネソタ・マイニング・アンド・
マニュファクチャリング・カンパニー

3. 代理人

住所 〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 (06) 6949-1261 FAX (06) 6949-0361

氏名 弁理士 (6214) 青山 葵



4. 補正対象書類名 請求の範囲



5. 補正対象項目名 請求の範囲

6. 補正の内容
別紙の通り

[別 紙]

請 求 の 範 囲

1. 少なくとも 1 つの感圧接着剤成分と、使用温度において該感圧接着剤成分と混和しない少なくとも 1 つの熱可塑性材料成分と、を含んでなる感圧接着剤組成物であつて、しかも、

(1) 少なくとも 40 重量%の感圧接着剤成分と、少なくとも 5 重量%の熱可塑性材料成分と、を含み、

(2) 少なくとも 2 つの異なるドメイン、すなわち、実質的に連續な第 1 のドメインおよびフィブリル状～片岩状の第 2 のドメイン、を含有する形態を有し、更に、

(a) 単独で使用されたときの該感圧接着剤成分のものよりも大きい剥離接着力およびそれと同等な剪断強度、

(2) 単独で使用されたときの該感圧接着剤成分のものよりも大きい剪断強度およびそれと同等な剥離接着力、

(3) 異方性剥離接着力、

(4) 異方性剪断強度、および

(5) 破断点伸びまでのすべての伸びに対して、ウェブの横方向の引張応力よりも少なくとも 2 倍大きいウェブの進行方向の引張応力、

から成る群より選ばれた少なくとも 1 つの感圧接着特性を有する前記感圧接着剤組成物。

2. 前記感圧接着剤成分が、アクリル系化合物、スチレンブロックコポリマ、天然ゴム、合成ゴム、シリコーン尿素ポリマ、ポリウレタン、ポリビニルメチルエーテル、およびこれらのブレンドから成る群より選ばれる請求項 1 記載の感圧接着剤組成物。

3. 前記熱可塑性材料成分が、エチレン-ビニルアセテート、ポリオレフィン、

ポリスチレン、非晶質ポリエステル、ポリメチルメタクリレート、およびナイロンである請求項1記載の感圧接着剤組成物。

4. 粘着付与剤を更に含んでなる請求項1記載の感圧接着剤組成物。